

本町に居場所をつくりたい シリーズ～まちの中の達人～

昨年ふれあいまつりで、本町のいいところを聞いたところパンカフェKANARIMOを推す声があり、早速、訪ねてみました。

パンカフェKANARIMOは池袋本町中央商店会にあり2017年7月に開業したお店。パンを焼きながらお料理を提供しています。店主の我妻恵子さんは、池袋本町の下町のような雰囲気にひかれて、女性でも一人で気軽に入れるお店を目指して開業を決めたそうです。

店名のKANARIMOとは「もりなか」を反対から読んだ言葉で、森の中のような落ち着いたお店にしたいとの願いが込められています。お店の中には店主とお話しやすい厨房に面したカウンター席の他、テーブル席や一人で座るのにちょうどよい壁に面したカウンター席があり、その日の気分によって使い分けすることができます。

座り心地のよいカウンターチェアで、ゆっくりと焼きたてのパンと一緒にシチュウやカレーが楽しめます。毎週日曜日にはパン教室も開かれていて人気です。

「食べ物で人を幸せにできる。」との信念から、いろいろな人がこのお店をコミュニケーションの場としていたきたいとお店を続けているそうです。今では一人暮らしのお年寄りから子連れのお母さんなどたくさんの方に親しまれるお店になってきました。



イラスト：井出幸子



郵便はがき

おそれいり
ますが62円
切手をお貼
りください

171-8422

東京都豊島区

南池袋2-45-1

豊島区都市整備部

地域まちづくり課 行



東日本大震災の現場から

豊島区地域まちづくり課の職員として、池袋本町も担当していた玉手紀昭さんは、東日本大震災の復興支援のため宮城県気仙沼に派遣されていました。通常は1年の派遣期間を、たつての希望で3年間延長し、現地の復興のお手伝いをしてきました。是非その体験談をお聞きしたいと、平成30年7月に新しいまちづくりの会においでいただきました。

玉手さんは現地で区画整理や地区計画を担当してきました。そして震災から7年を経てもまだまだ終わらない復興の歩みに、東京で大震災が起こったらどうなるのかと、ますます危機感を持っているそうです。少しでも速やかな復興を行うには、普段からどんなまちにしていくのかを考え、進めていくことが必要だと改めて思うとおっしゃいます。

玉手さんはこの4月から気仙沼市職員として、気仙沼の復興の現場に戻られます。ますますのご活躍を期待しています。



池袋本町

まちづくりニュース

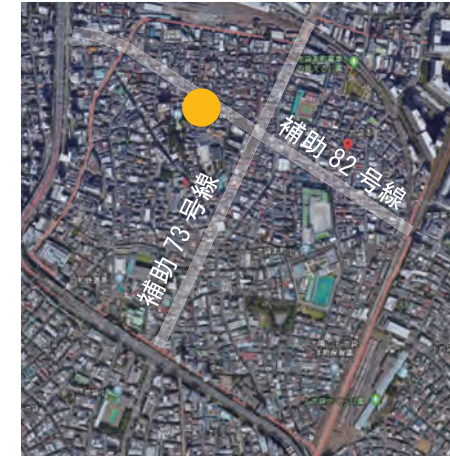
Ikebukuro Honcho
Machizukuri News
No.66

2019年3月発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会
http://池袋本町.net
豊島区都市整備部地域まちづくり課
問い合わせ先：
tel 03-3981-1464
fax 03-3980-5135
編集協力：防災アンド都市づくり計画室

都市計画道路整備に合わせて沿道まちづくり

池袋本町では補助73号と82号線の都市計画道路が事業中です。事業が着手して4年が経ちますが、あちこちに空地が目立つようになってきました。現在、この道路沿道では、共同化(複数の敷地が一体化して建替え)の取り組みが進んでいます。



共同化することで、都市計画道路にかかった方の中には、この地を離れずに住み続けることができるようになった方がいます。なお、この事業では国や都、区からの補助金を受けられる可能性があります。

三丁目のある街区では20名ほどの権利者がまとまって12月には準備組合が結成され計画づくりを進めています。都市計画道路事業をきっかけに新しい池袋本町の街並みが生まれそうです。

会員募集中

新しいまちづくりの会で
一緒にまちづくりをしま
せんか。参加をご希望の
方は事務局まで

残りわずか 不燃化特区助成

池袋本町地区の不燃化の促進をするために区内で燃えない建物に建替える方に不燃化特区助成を行っています。これは10年間の事業で、その期限は2021年3月までとなります。不燃化特区の助成を受けるためには、建物の工事が完成し登記まで行われなくてはなりません。したがって、2020年12月くらいには工事が完成している必要があります。時間があってももう残すところあとわずかになってきました。設計や工事には時間がかかります。助成金を利用して建替える計画されている方は、お早めに区へご相談ください。

お問い合わせ：都市整備部地域まちづくり課

電話 03-3981-1464

ブロック塀などの撤去に特別助成

豊島区では、区内で危険なブロック塀などの撤去を希望される方を対象に、改善工事費用の一部を助成しています。対象となるのは道路または地表から高さ1.2mを超えるものです。ブロック塀などの撤去と新たな塀などの設置にかかる経費の一部を助成します。詳しくは区にご相談ください。

お問い合わせ：都市整備部建築課

電話 03-3981-0591

つれづれに一言

池袋本町新しいまちづくりの会 加藤晃司

「秩父の山を遠く見る都の北のひばりが谷」この地にある池袋中学校の校歌の一節である。今では昭和22年開校当時の情景は見られず、また街の賑わいは池袋駅周辺の繁華街にその場を譲っていますが、かつては池袋本町と称し、その名の如く池袋の中心地として栄えていました。子供たちは氷川神社の富士塚に登ったり、裏の赤土山や牛屋の原っぱ(都営住宅付近)で一日中遊びまわっていました。今の本町中央通りには路線バスが走り、映画館も何軒もあり、周辺の商店街は買い物客で賑わっていました。時代は昭和から平成に移り、人々の生活ニーズに合わせて、街のたたずまいが徐々に変わる中、池袋本町は交通便利な地に加え、静かで、暮らし易い町として、若者たちのニーズに合い、かつ高齢者の思いを残す町の面影を残してきました。近年には、環境問題や防災面における住民意識の高まりから、「本町公園」の整備に続き「電車の見える公園」「仮称本町二丁目公園」の新設、更には都市計画道路2線の整備など、新しいまちづくりが着々と進められています。ちなみに「雲雀が谷」は埼京線の踏切にその名をとどめています。

ふれあい まつり

平成30年10月7日(日)と8日(祝)に池袋本町公園でふれあいまつりが開催され、新しいまちづくりの会も参加しました。

今年も昨年同様に縁台遊びを行いました。子どもたちには大人気でした。その他、子供向けに新しくできる公園の名前をつけてもらいました。また、大人向けには本町のいいところや課題のあるところ地図に記入してもらいました。



縁台あそび



初日のスタッフ



公園の名前募集



本町のいいところ・課題の場所の聞き取り

本町のいいところ・課題の場所マップ

公園の点検と手入れ

清掃点検パトロール

毎年、年2回行っている清掃点検パトロールを、今回は電車の見える公園を中心にこないました。平成30年12月16日(日)。集まったのは住民や大学生など12人。この日の一番の目的は、公園に設置されている防災設備の点検です。

まず、倉庫に保管されている防災かまどを確認。実際に火は付けませんでした。火をつけご飯を炊く段取りを確認しました。次にマンホールトイレを設営し、テントも開いてみました。マンホールトイレは井戸の水を流して使います。実際に流れるか、味噌を使って実験してみました。その結果、たくさんの課題があることがわかりました。今後、いざという時に使えるように、体制づくりが必要であることを確認しました。

その後、公園内を点検すると、トイレの脇に設置した側溝が泥で埋まっていることを発見しました。急遽、スコップを持ち寄り汗をかいての清掃になりました。



防災かまど



マンホールトイレのテント



マンホールトイレ



側溝の清掃

池袋本町二丁目の公園

まぶしくないすべり台に

池袋本町二丁目の公園は、商店街側の建物が解体されました。とても明るく広々した空間になりました。

現在は実施設計が進められています。ふれあいまつりで公園の中央に整備されるすべり台について、面の大きなすべり台は天気がよいとまぶしいので色を工夫してほしいという意見が寄せられました。

検討会ではすべり台の色を検討しました。昔の様子を知るメンバーから、氷川神社の裏に土が露出しているところがあり、赤土山と呼んでいたというお話が出ました。赤土は関東ローム層という



商店街側の建物の解体前の様子

建物が解体されて広がった敷地

東京でもいたる所で見える土です。これをヒントにすべり台の色も赤土のようなアースカラーにしようということになりました。

公園育ての検討

この公園には様々な防災設備が整備され、災害時には近所の皆さんの生活の助けになります。これらの防災設備は、災害が起こった時には地元の皆さんが自主的に管理運営する施設となります。

区が行う公園の維持管理に加えて、よりきめの細かい管理を行い、それが災害時にも役立つようにしたいと検討会では考えています。検討会は公園完成後には育てる会にしたいと考えています。これから1年かけて、その体制や活動を検討していきます。

あなたも公園育てにご参加を

この公園はこれからみんなでつくりあげる公園です。どのように活かし、地域の人と共に楽しむことができるか。一緒にこの公園を育てていきませんか。参加のお申し込みは事務局まで。

公園の名前を選んでください

検討会では、ふれあいまつりの会場で名前を募集しました。その結果160を超える名前の案が寄せられました。ご協力いただいた方には改めてお礼いたします。

公園の名前は、豊島区内に同じようなものがないことが条件となります。また、親しみやすく、覚えやすいことも必要だと検討会では考えました。そういう条件で応募された名前の中から、次の5つの名前にしぼらせていただきました。

- ①池本だんだん公園(敷地内の大きな段差から)
- ②池本二丁目公園(二丁目にある公園から)
- ③いけほん谷端の丘公園(谷端川の丘にあるから)
- ④池袋本町宮の元公園(氷川神社にちなんで)
- ⑤池袋本町〇〇(新元号)公園(今年新元号に代わることから)

この中から公園にふさわしいと思われる名前に投票してください。この中がない場合には新たに考えていただいてもけっこうです。公園名は、投票結果を見て、検討会で判断させていただきます。

宛先: 豊島区南池袋2-45-1

豊島区都市整備部地域まちづくり課

Eメール: A0022706@city.toshima.lg.jp

FAX: 03(3980)5135

締切: 平成31年3月末日

池袋本町二丁目の公園 名前募集

公園の名前としてふさわしいと思うものに○を付けてください。5つの候補にない場合はご提案いただいてもけっこうです。

- ①池本だんだん公園
- ②池本二丁目公園
- ③いけほん谷端の丘公園
- ④池袋本町宮の元公園
- ⑤池袋本町〇〇(新元号)公園
- ⑥その他

()公園

よろしければ住所とお名前をお書きください。

住所

氏名